

「世界水準」の思考法

【目次】

はじめに

第1章 日本人が生き抜くための「3.0」の思考とは

- ・ 日本的思考だけでは、グローバル社会で成果を出すことはできない
- ・ グローバルとローカルの両視点を使いこなす「二刀流思考」
- ・ 二刀流の「GULE思考」を身に付ける3つのステップ
- ・ 外資化する今後、グローバル思考がなければ通用しない
- ・ 青の思考で、諸事を動かすための「デザイン力」を身に付けよう
- ・ ローカルを活かし、グローバルで存在感を示す「青と緑の二刀流思考」
- ・ 能力をフル稼働して考え抜く「全体思考」
- ・ 変化する世界に翻弄されないために、総力戦で考える
- ・ 「書く」「動く」「話す」力を見直して、世界水準の思考力を磨こう
- ・ 「全体思考」と「二刀流思考」

2章 「アウトライン思考」で問題を解決する ～書きながらデザインを考える～

- ・ 「書く」ことで、コンセプトレベルの思考を磨く
- ・ METHOD1 アウトライン法 ～枠組みと現場を行き来して考える～
- ・ METHOD2 着地思考 ～その場で結論を出す～
- ・ METHOD3 アートの自分軸思考 ～情報が自然に集まる目つきを作る～
- ・ METHOD4 脱現場のオフライン思考 ～外に向けた目を常に持ち続ける～
- ・ METHOD5 絶対受動思考（考えないで聞き取る思考）～他人の声を120%取り入れる～
- ・ METHOD6 「社長的アウトライン」で行なう全体思考
- ・ METHOD7 アウトライン法でグローバル二刀流を磨く

3章 「自分最適」で仕事をデザインする

～体を使って、考えが「湧く」状態を作る～

- ・ 人は本来、動きながら考える
- ・ METHOD8 歩いて考え、練り上げていく「二刀流思考」
- ・ METHOD9 自分最適の「時・空・間」をデザインする
- ・ METHOD10 ずれ活用法 ～標準からずれると頭が動く「マインドフル」の法則～
- ・ METHOD12 隙間時間をデザインすれば、時間は何倍にも使える

4章 「話す」思考パワー ～他人の頭で考えを深める～

- ・ 話しながら考えを深める「対話術」
- ・ METHOD13 世界水準の「対話」のルール
- ・ METHOD14 I人称…II人称…III人称…N人称…Weへ
～対話の相手を切り替えて思考力を高める～
- ・ METHOD15 自分との対話
- ・ METHOD16 1対1の対話
- ・ METHOD17 複数の人への発信
- ・ METHOD18 N対Nのネットワーキング
- ・ METHOD19 We チーム作り
- ・ METHOD20 即興で自分にも意外な思考が飛び出す
- ・ おわりに